

CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM

Vision Edition

Q & A



外部のパソコンに画像やログデータを保存したい



FTP通信で外部のパソコンに画像やログを保存できます

Vision EditionではFTP（ファイル・トランスファー・プロトコル）に対応しているので、FTPサーバーに画像データ、CSVログデータ、スクリーンショット画像を転送することができます。本機能を使うには以下の設定が必要となります

- ・ 受け取る側の設定（外部PCのFTPサーバー設定）
- ・ 送る側の設定（Vision Edition側の送信設定）

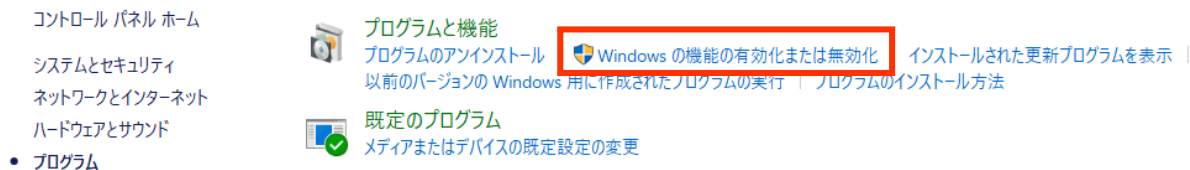
本手順書ではWindowsに搭載されているIIS（Internet Information Services）に含まれるFTPサーバー機能を使った手順を例として記します。本例ではWindows 10 Proによる設定方法を記します。

最初に受け取る側の設定（外部PCのFTPサーバー設定）を行います

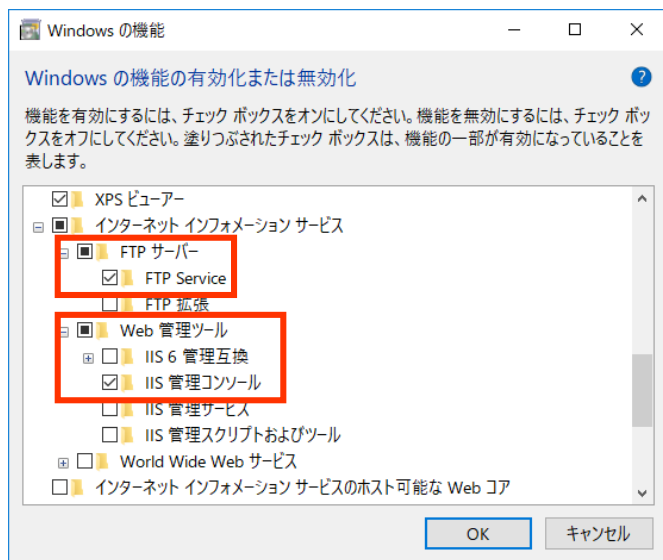
手順①. [コントロールパネル]→[プログラム] → [Windowsの機能の有効化または無効化] を選択

コントロール パネル*プログラム

← → ↓ ↑ コントロール パネル > プログラム

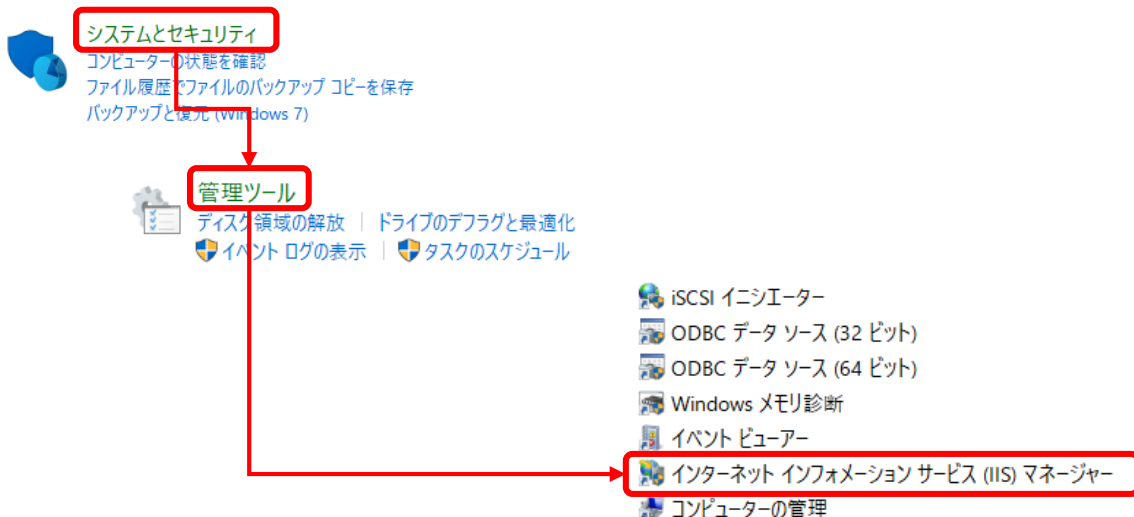


手順②. Windowsの機能画面が開くので以下の赤枠内と同じように設定し、OKボタンを押す。 OKボタン押し後、機能追加に少し時間を要します。

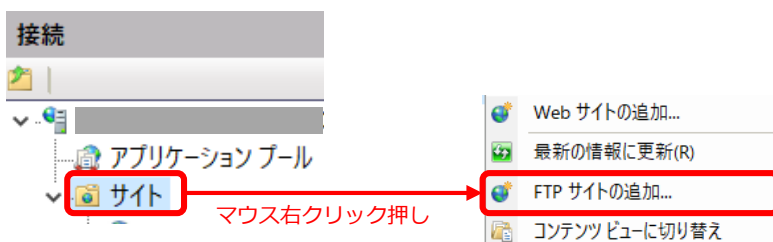


Vision Edition Q & A

手順③. [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー] を選択



手順④. 開いたIISマネージャー左部にある接続ウィンドウ内の [サイト] に合わせて右クリック → [FTPサイトの追加] を選択



手順⑤. FTPサイトの追加画面が表示されるので以下のような設定を行う

FTP サイトの追加



サイト情報

FTP サイト名(F):
FTP_TEST

コンテンツディレクトリ
物理パス(H):
C:¥FTPDATA

本FTPサーバーの名称。任意でよい

FTPサーバーに送られたデータを保存するフォルダーを選択。事前に保存したいフォルダーを任意に作成しておきます。ここでは例として [C:¥FTPDATA] としていますが一例であり、この通りでなくても問題ありません

Vision Edition Q & A

手順⑥. 次に [バインドとSSLの設定] 画面が出るので以下のように設定し、次へボタンを押す

FTP サイトの追加

バインドと SSL の設定

バインド

IP アドレス(A): すべて未割り当て ポート(O): 21

仮想ホスト名を有効にする(E):

仮想ホスト (例: ftp.contoso.com)(H):

FTP サイトを自動的に開始する(T)

SSL

無し(L)

許可(W)

必要(R)

SSL 証明書(C): 未選択

選択(S)... 表示(I)...

前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

手順⑦. 次に [認証および承認の情報] 画面が出るので以下のように設定し、終了ボタンを押す

FTP サイトの追加

認証および承認の情報

認証

匿名(A)

基本(B)

承認

アクセスの許可(C): すべてのユーザー

アクセス許可

読み取り(D)

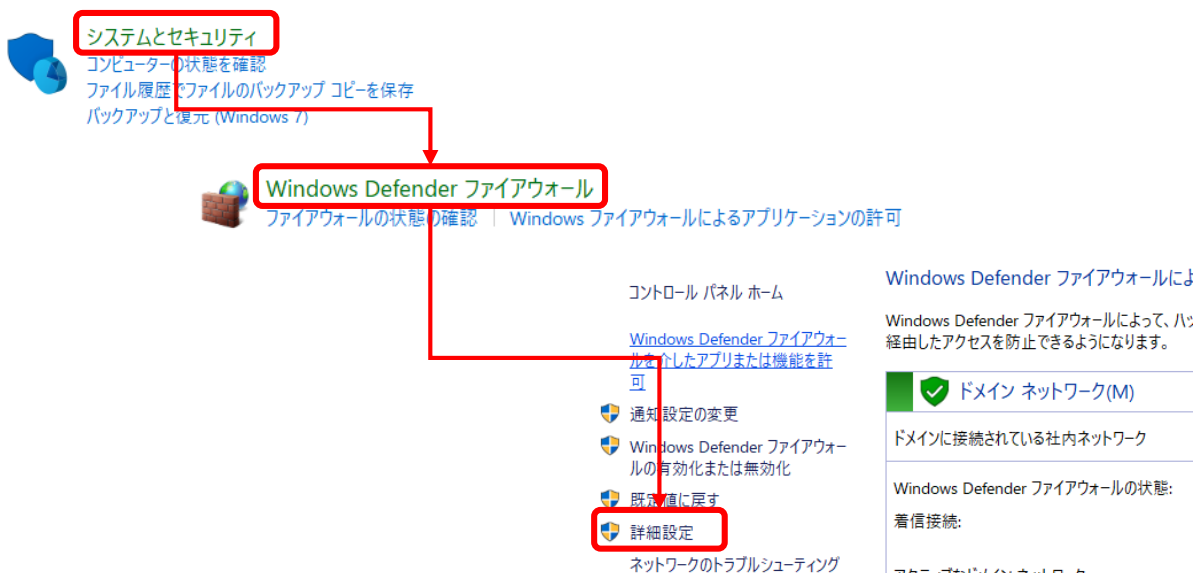
書き込み(W)

前に戻る(P) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

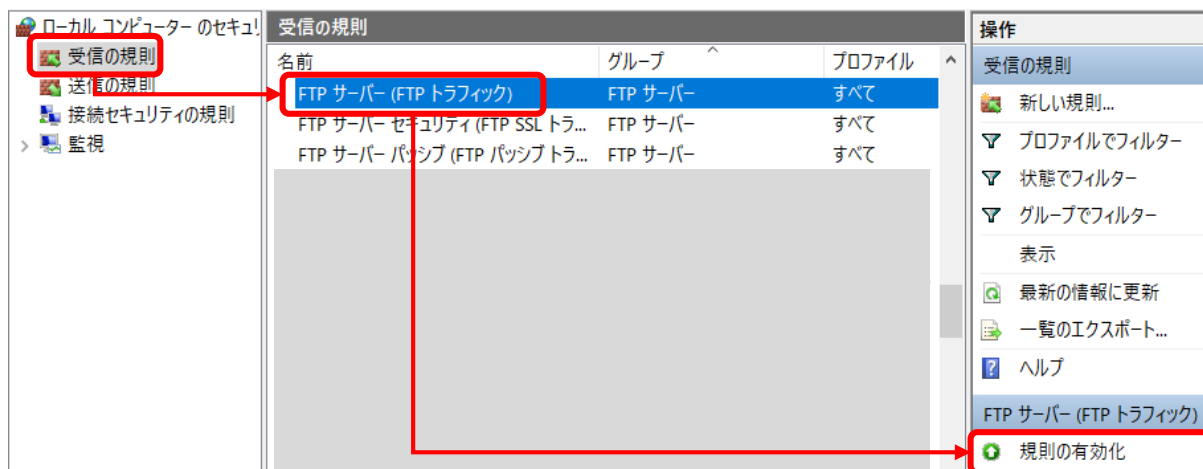
Vision Edition Q & A

手順⑧. 次に外部機器（VisionEdition）からFTPサーバーにアクセスさせるためにファイアーウォールの設定を行います。

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] →
[Windows Defenderファイアーウォール] → [詳細設定] を開く

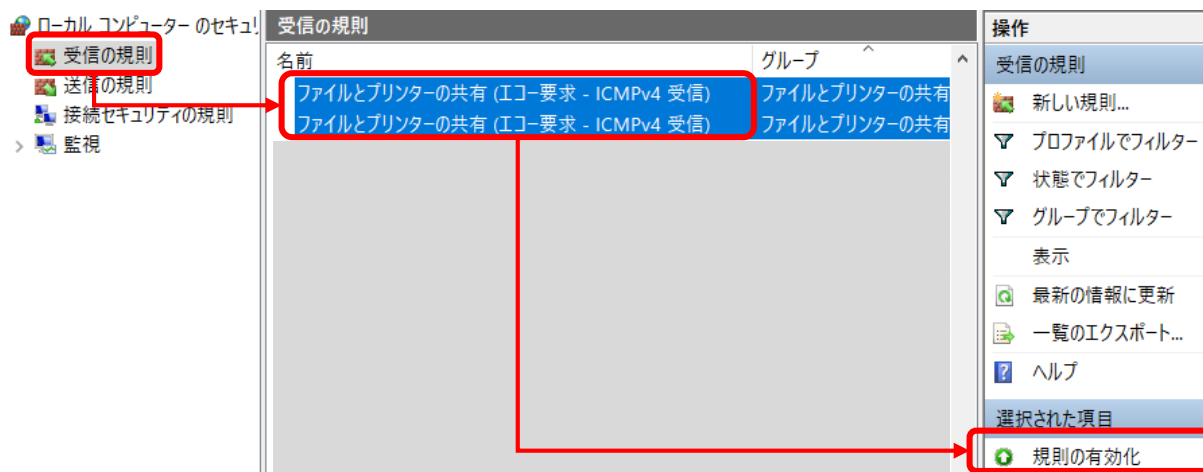


手順⑨. [受信の規則] → [FTPサーバー（FTPトラフィック）] → [規則の有効化] を選択

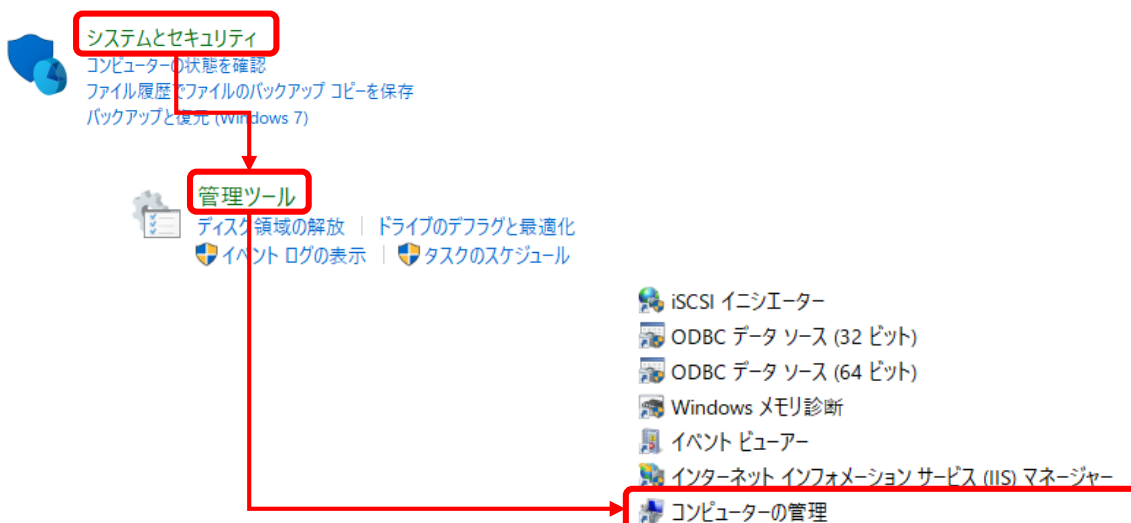


Vision Edition Q & A

手順⑩. [受信の規則] → [ファイルとプリンタの共有 (エコー要求-ICMPv4受信)] → [規則の有効化] を選択 (以下のように同一名称で2行あるので、どちらも行うこと)

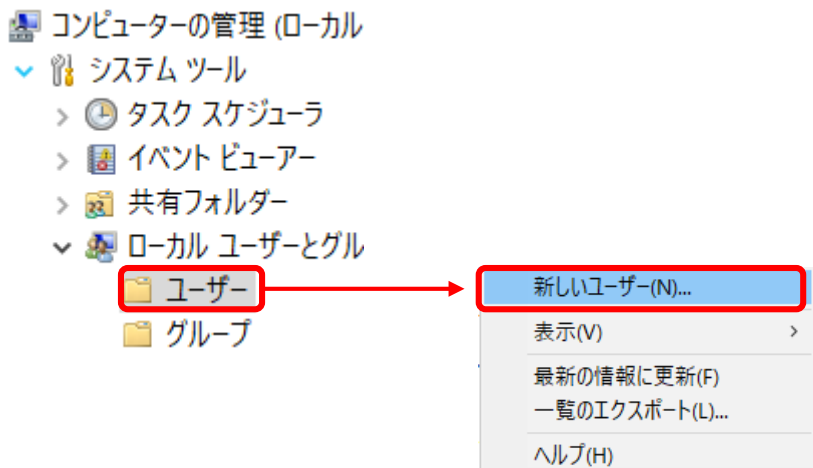


手順⑪. 次に外部機器 (VisionEdition) からFTPサーバーにアクセスするユーザーを作成します。
[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [コンピュータの管理] を開く

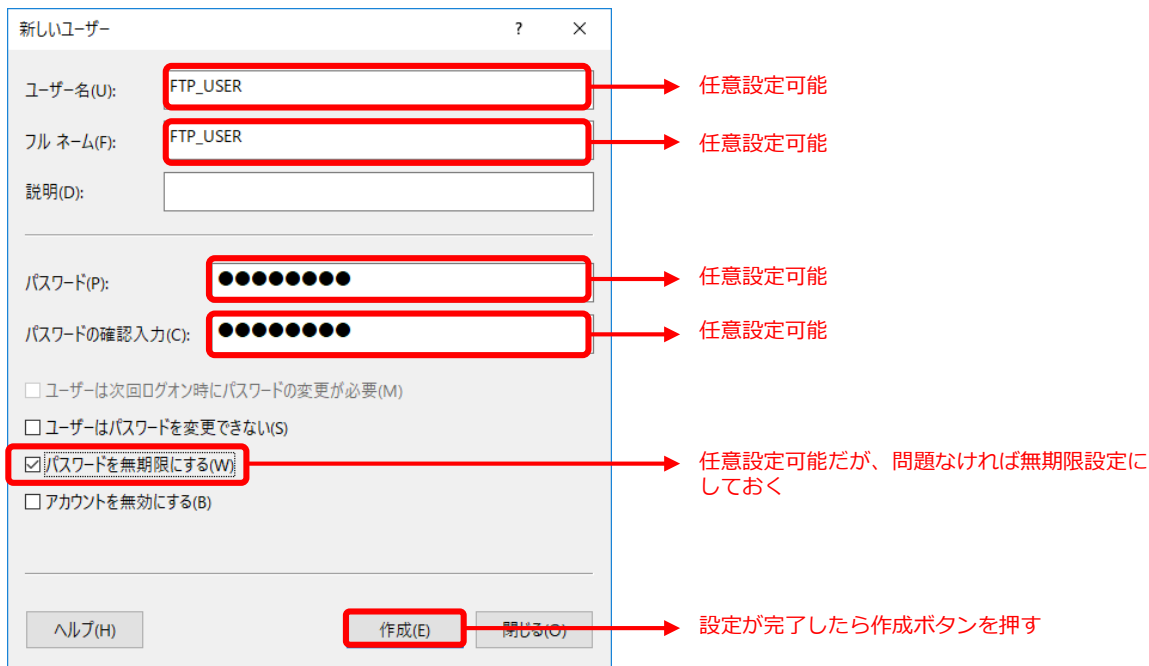


Vision Edition Q & A

手順⑫. 左のツリー画面から [ローカルユーザーとグループ] → [ユーザー] に合わせてマウスの右クリック → [新しいユーザー] を選択

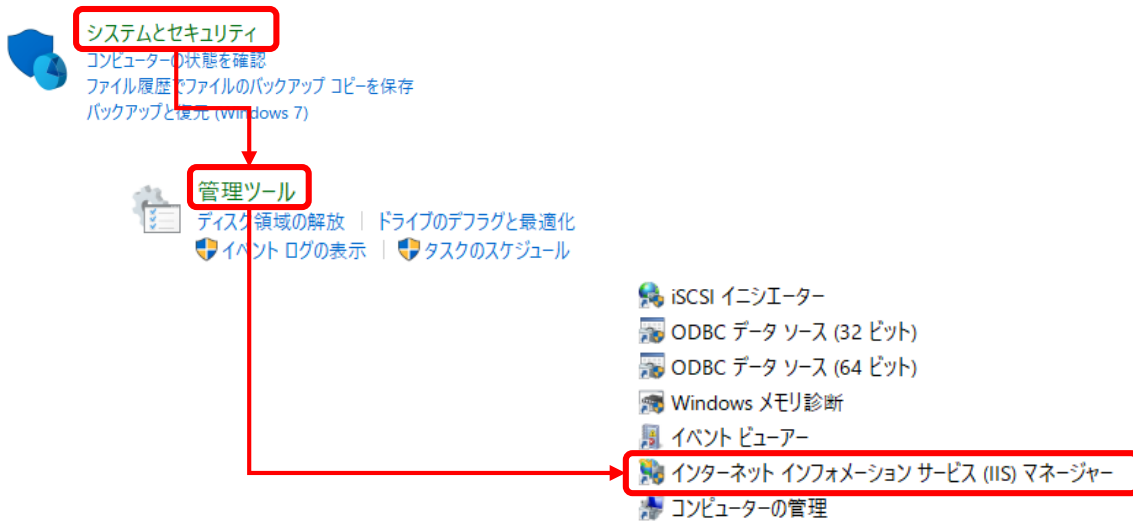


手順⑬. 下図のようにFTPサーバーに接続するための新しいユーザーを作成します。ユーザー名やパスワードは一例なので、任意設定してください

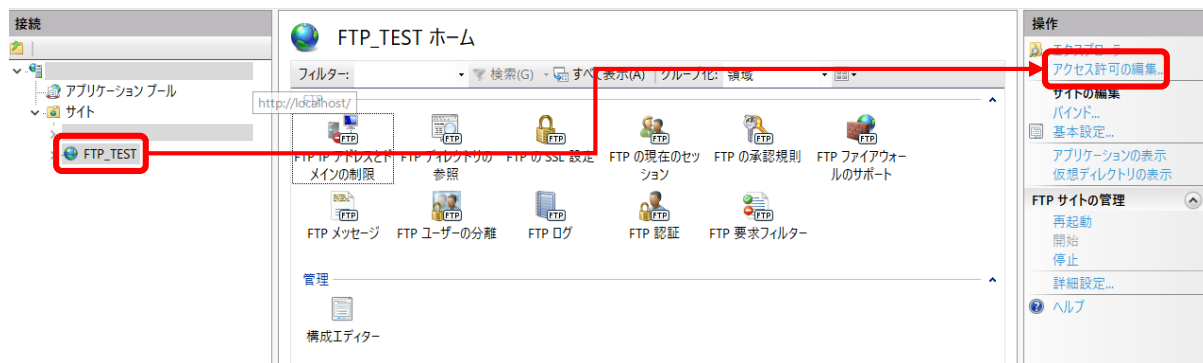


Vision Edition Q & A

手順⑭. 続いて先ほど作成したフォルダーに対してのアクセス権限を、先ほど作成したユーザーに付与
[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] →
[インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャー] を選択



手順⑮. 左側のツリー上の [サイト] → [先ほど作成したFTPサーバー] を選択し、
右側の [アクセス許可の編集] を選択



Vision Edition Q & A

手順⑩. 開いた画面で以下のようにフォルダーへのアクセス件を付与していく

FTPDATAのプロパティ

全般 共有 **セキュリティ** 以前のバージョン カスタマイズ

オブジェクト名: C:\FTPDATA
グループ名またはユーザー名(G):

SYSTEM

アクセス許可を変更するには[編集]をクリックします。

編集(E)...

FTPDATAのアクセス許可

セキュリティ

オブジェクト名: C:\FTPDATA
グループ名またはユーザー名(G):

SYSTEM

追加(D)... 削除(R)

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類を選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル オブジェクトの種類(O)...

場所の指定(F):
PC名を指定 **場所(L)...** → [場所]を押して、設定しているPC名を指定

選択するオブジェクト名を入力してください(例)(E):

名前確認(C)

詳細設定(A)... OK キャンセル

ユーザーまたはグループの選択

オブジェクトの種類を選択(S):
ユーザー、グループまたはビルトインセキュリティプリンシパル オブジェクトの種類(O)...

場所の指定(F):

共通クエリ

名前(A): 次の文字で始まる

説明(D): 次の文字で始まる

無効になっているアカウント(B)

検索(N) 列(L)...

中止(T)

名前

FTP_USER 先ほど作成したユーザーを検索し、指定

Guest

Guests

選択するオブジェクト名を入力してください(例)(E):

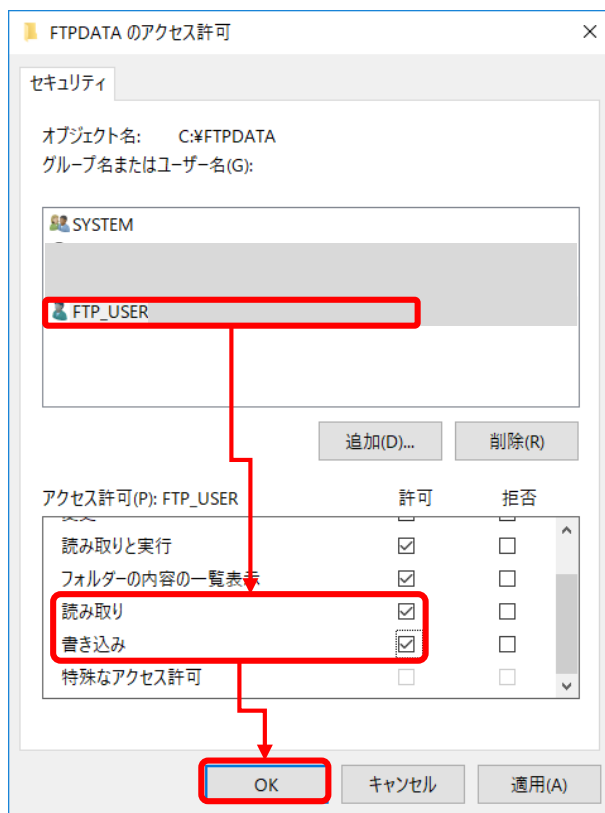
FTP_USER **追加されていることを確認** 名前確認(C)

OK 詳細設定(A)...

キャンセル

Vision Edition Q & A

手順⑰. セキュリティタブ内の先ほど追加したユーザーを選択した状態で、下部のアクセス許可一覧の読み取りと書き込みにチェックを入れて[OK]ボタンを押す



手順⑱. パソコンを再起動します。



再起動しないと、外部からのアクセスが失敗する可能性がありますので必ず行ってください。

以上でFTPサーバー側の準備は完了しました。
続いて、送る側 (Vision Edition) の設定を行います

Vision Edition Q & A

手順①. Vision Editionを起動し、設定を行いたいJOBを開きます

手順②. 画面上部の[LOG]ボタンを押します



手順③. 以後のFTPサーバー設定はVision EditionのVerによって設定箇所が異なります。ご使用中のVerに応じた説明を参照ください。

Ver1.3までのVision Edition

ログ保存

ログ画像 ログデータ 記録画像 FTP

FTPで転送する → 必ずチェックを入れてください

FTPサーバー設定

IPアドレス: → FTPサーバー側のIPアドレスを入力

ユーザー名: → 先ほど作成したユーザー名を入力

パスワード: → 先ほど作成したパスワードを入力

転送対象

ログ画像

ログデータ → 転送対象を指定します
スクリーンショットとは画像処理完了後に最後に画面に表示されている画面のスクリーンショットを取得し、転送する機能
なお後述の保存設定をしないと正しく転送されません（ログとして保存されたデータを転送するため）

スクリーンショット

通信テスト

テスト実行 → テスト実行ボタンを押して、左図のように「FTPサーバーと接続できました」と表示されたら成功となります。

FTPサーバーと接続できました。

注意
失敗した場合、今一度FTPサーバー設定手順を最初から見直してください

Ver1.4以降のVision Edition

ログ保存

ログ画像 ログデータ(CSV) ログデータ(DB) 記録画像

保存設定

保存条件: すべて

OK時保存形式: JPEG(*.jpg)

NG時保存形式: BMP(*.bmp)

スクリーンショット: 保存しない

保存数(日): 120

保存画像設定

[-] 撮像

[-] 001: 撮像

[-] カメラ1

保存先: D:\

FTP転送設定

FTP転送設定

FTPで転送する

FTPサーバー設定

IPアドレス:

ユーザー名:

パスワード:

転送対象

ログ画像

ログデータ

スクリーンショット

通信テスト

テスト実行

未転送データ

ファイル数: 0 / 100

転送

OK キャンセル

必ずチェックを入れてください

FTPサーバー側のIPアドレスを入力

先ほど作成したユーザー名を入力

先ほど作成したパスワードを入力

転送対象を指定します
スクリーンショットとは画像処理完了後に最後に画面に表示されている画面のスクリーンショットを取得し、転送する機能
なお後述の保存設定をしないと正しく転送されません（ログとして保存されたデータを転送するため）

テスト実行ボタンを押して、左図のように「FTPサーバーと接続できました」と表示されたら成功となります。

注意

失敗した場合、今一度FTPサーバー設定手順を最初から見直してください

Vision Edition Q & A

手順④. [ログ画像]タブを選択し、保存設定を行います。
ここで何も保存設定をしないと、FTP側にもログ画像は転送されません。

ログ画像 ログデータ(CSV) ログデータ(DB) 記録画像

保存設定

保存条件: → 任意の保存条件を設定します

OK時保存形式: → 保存条件に応じたログ画像の形式を指定します。長期保存する場合、軽量のJPEGが、NG画像から詳細な画像再現を行う場合はBMPを指定するとよいでしょう

NG時保存形式:

スクリーンショット:

保存数(日): → この保存数(日)は産業用PC側の保存期間となります。FTPサーバー側には影響しません

保存画像設定

撮像 → どの撮像パーツの画像を保存するかの指定が必要です

- 001: 撮像
- カメラ1

手順⑤. [ログデータ (CSV)]タブを選択し、保存設定を行います。
ここで何も保存設定をしないと、FTP側にもログ画像は転送されません。

ログ保存

ログ画像 **ログデータ(CSV)** ログデータ(DB) 記録画像

保存設定

保存条件: → ここで[保存しない]を選択するとFTPサーバー側にもログデータは転送されません。

ファイル名ヘッダー:

保存数(日):

保存データ設定

No	項目名	データ
01	ログデータ001	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 00 <input type="text" value="処理時間[ms]"/> → 転送したいデータを任意選択します
02	ログデータ002	--

手順⑥. Vision Editionをオンライン状態にして、各種トリガー処理を行ってください。
FTP転送はオンライン中のログデータにのみ行われるので、オフライン中の手動トリガーではFTP転送は実行されません。

